



## 新役員とNPO法人化への途が承認されました

— 2010年度CIFジャパン総会報告 —

6月19日、東京大学YMCA会館礼拝堂を（同YMCA理事梶村慎吾氏の尽力により）会場としてお借りして2010年度総会が開催され、役員改選とNPO法人化についての審議が熱心に行われました。概要は竹内和利会長の「役員再任にあたって」（下記）を、また、詳細は本紙添付の総会議事録をご参照ください。

### 役員再任にあたって

会長 竹内 和利  
1994年インディアン

今夏は全国的に異常ともいえる猛暑に見舞われましたが、皆様は如何お過ごしでしょうか。

遅くなりましたが、本紙にて2010年度総会のご報告をさせて頂き、併せてこんごのことについてすこしばかり申し述べさせて頂きたいと思ひます。

総会での審議内容全体については議事録をお読み頂くこととしまして、ここでは役員改選とNPO法人化について若干触れさせて頂きます。

#### 役員は改選2名、再任7名となりました。

まず任期満了による役員改選について、審議の結果お二人を除いて引き続き現役員の留任をお決め頂きました。その際、雪吉政子副会長と根本嘉昭監事が退任されることとなり、後任の副会長に山崎喜久雄氏が、また監事に三宅浩氏が、それぞれ就任頂くこととなりました。雪吉さんと根本さんには前田大作前会長のご在任中から引き続いてお役を引き受け頂き、CIFジャパンの為、陰に陽にご尽力を頂きました。皆

様とともにお礼を申し上げたいと思ひます。

#### 本年度末あるいは来年度の認証を期待して提出文書の作成に入ります。

次にCIFジャパンの今後を方向付けるNPO法人化につきましては、既にアンケート結果でもご報告しましたように、法人化には多数のご賛同を頂いておりましたので、総会では賛否の議論もなく、多数の委任状と参会者の満場一致を以って「特別非営利活動法人」認証への途が承認されました。今後は提出文書作成を念入りに行い、京都府庁に申請後は数ヶ月間、認証を待つこととなります。

提出する文書の作成過程で、従来のCIFジャパンと比べ、NPO法人化により転換を余儀なくされる点がございます。議事録にも記されていますが、新しい定款では、正会員は「この法人の目的に賛同して入会した個人」ということになり、現行の「正会員はCIPUSA又はCIF加盟国支部による研修プログラムのいずれかに参加した者で、かつ本会に入会を希望する者とする」という内容と大きく異なります。現行のままでは、入会の門戸をごく一部の人に限定することとなるので、役所の窓口で開口一番、再考を求められました。但し誰でもこの目的に賛同すれば正会員になれるかといえば、新しい定

款案でも第7条の「入会」のところで「正会員は医療、保健、福祉、教育等の人的サービス従事者、研究者、及びボランティア等」と限定されています。このことは是非ご理解頂きたいと思っております。

## 今後の事業推進にご協力をお願いします。

尚又この機会に、今すぐ今日からでも、NPO法人化後の事業の推進について、ご理解とご協力をお願い致します。法人認証後の事業計画にそって申し上げます：

- (1) **国際研修参加支援事業(国際研修参加者支援)**・・・過去2, 3年、一人の参加者もみていませんので是非とも会員である皆様のご友人、同僚、所属団体、関連機関などへ個人的にPRを頂きたいことです。せめてHPによるプログラムのご紹介だけでもお願いしたいと思います。
- (2) **国際交流促進事業(公開講演会・セミナー等の開催、人的国際交流)**・・・昨年スペインから来訪者がありましたように、こんごも国外のCIF会員が日本観光を兼ねて来日しCIFジャパンを通じて情報交流を希望されることが予想されます。そのような機会に施設、大学、地域等において、外部の専門家、学生、市民、を交えた交流会の実施が望まれます。皆さんの職場や地域で是非実施を構想頂ければと考えます。会員各位には各地での講演会、シンポジウムでの講師をお引き受け頂くことや、交流会の主催など願えれば有り難いと思っております。
- (3) **国際交換研修事業(外国人研修者受入と研修プログラム実施)**・・・外国専門家向けに日本ではどんな研修プログラムが可能か、外国人が日本から学びたいものは何か、日本にだけしかなく、世界に奨められる技術、知識、実践方法など、皆さんの地域、職場などを通じて全国か

ら、交換研修プログラムの要素が集められれば、世界に胸を張って交換研修の看板を掲げることができるのではないかと考えております。お気軽によろしくご協力をお願い致します。(京都在住)

## 副会長退任にあたって

雪吉政子

1965年ツインティーズ

US\$1が¥360の1965年、日本から5名がCIPプログラムに参加いたしました。45年前の今日はミネソタ州の北部、カナダとの国境近くのナショナルフォレストにあるガールスカウトのキャンプ場で指導者として7週間のキャンプ中でした。期間中の体験は帰国後に、日本連盟だけでなくあらゆる機会に貢献できました。日本連盟からの推薦でCIPから来日されたオーレンドルフ氏にアメリカ大使館で30分の面接を受け、合格し、渡米の機会を頂きました。彼は大変温厚なお方でした。後でCIPを設立された方とわかり恐縮したものです。1956年に設立されて以来54年間、世界平和を築くために若者に学ぶ機会を提供しているこのプログラムは今後も継続してほしいものです。そしてCIFも今後の活躍を期待しております。

CIF-JAPAN設立に際しては廃止の声があるなか、強行に継続を発言した者として役員に在籍してなんらかの協力をしなければという思いでした。退任に際して、CIF-JAPANから、日本にはschool social work systemは制度化されていないようなことを伺っておりますので、発信なさってはいかがかとご提案して、長い間皆様から多くの事を学ぶ機会をいただき感謝を申し上げ、みなさまの益々のご発展を祈願いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。(岡山県在住)

## CIPの友人を日本に迎えて

奥野英子

1973年 ツインシィーズ

1973年にCIPに参加させていただき、37年が経過しました。当時、私は日本障害者リハビリテーション協会に勤めており、リハビリテーションの現場での実習を希望し、それがかなう研修でした。4月末からニューヨークでオリエンテーションがあり、その後、ミネソタ大学での研修プログラムが開始され、28か国から29名の参加者でした。

ミネソタ大学での最初の講義が「リハビリテーション」となっていて、びっくりしたのですが、具体的には、近隣の貧困地区のスラムのような住宅を実際に訪問して、リフォームをする現場実習のような授業であり、人間の尊厳を取り戻すためには、住宅環境の改善が重要であるという内容でした。

講義期間が終わり、実習として、アメリカで一番最初にできたという「ケニーリハビリテーションセンター」に配置されました。素晴らしいスーパーバイザーに恵まれ、4名のソーシャルワーカーとともに、様々な経験をすることができました。そのスーパーバイザーはマーガレット・ダウソンさんとおっしゃり、それ以来、毎年、クリスマスカードを交換するほか、ご夫妻で日本にツアーで来られたときには、都心のホテルに長女（当時3歳）とともに会いに行き、楽しいひとときを過ごしました。

その後、長女がウィスコンシン大学を卒業するとき、卒業式に参加するために次女とともにダウソン家を訪問し、何日も泊めていただき、リハビリテーション医でいらしたご主人様にも大変お世話になりました。

私がケニーリハビリテーションセンターで実習をしていたとき、オランダからCIPに参加していたマリアン・ウォルターさんは、隣にあった職業リハビリテーションセンターで実習をさ

れました。同じリハビリテーション分野でもあり、実習先が隣同士だったので、様々な活動と一緒に参加し、一番の友人となりました。

マリアン一家とは、その後、私が会議でヨーロッパに行ったときなど、アムステルダムのホテルまで家族全員で会いに来て下さったり、家族の様子や写真の交換などをしてきました。

今年の3月25日から4月21日まで、日本にご夫婦で来ることになり、我が家を拠点としていただきました。歌舞伎、能、文楽などを見たいとのことで、それらの切符を用意し、また、新幹線で、京都、奈良、和歌山、大阪、岡山、倉敷、広島、長崎、高山など、意欲的に出かけに行きました。最後には、私の夫の運転で、富士山を見に出かけました。

河口湖のレストランから、雪化粧の素晴らしい富士山を堪能することができました。その時の写真を掲載させていただきます。



帰国予定日頃に、アイルランドの噴火があり、飛行機が飛ばないのではないかと、マリアンのご主人の常用薬（心臓病）が切れてしまうなど、ピンチがありましたが、実際には、帰国予定日から飛行機が飛び、問題なく、予定通りに帰国することができました。

ウォルター家とは、お互いに家族構成も似ているため、家族ぐるみのおつき合いです。次は私たち夫婦がオランダのウォルター家を拠点に、旅行に行く予定になっています。

CIPをご縁に、素晴らしい人間関係があることに感謝しています。

**（筑波大学特任教授、東京都在住）**

## 新役員自己紹介

### 副会長 山崎喜久雄

1969年 クリーブランド

私は昭和44年度のCIP参加者4人の内の一人で現在、広島市において児童養護施設、知的障害関係施設、併せて5施設を経営する2代目の経営者として日々奮闘しております。

当時は1ドル360円の固定相場で、国外持ち出しが500ドルと制限されていた時代です。その額は丁度、羽田、ニューヨーク間の片道切符でした。

エクステンドプログラムに参加させて頂いたお陰で1年余りのアメリカ滞在でしたが主にクリーブランドとコロンバスを中心に研修しました。10ヶ月の州立施設での研修期間は言葉も十分理解できないため、生活にもなじめず大変苦勞しました。周囲には日本人も日本食もない、言葉も分からない異国の地で孤独な私を支えて頂いたのはクリーブランドオーケストラのビオラ奏者であるホストファミリーの方でした。

週末にはバスでコロンバスからクリーブランドに行きお世話になりましたが、彼も演奏旅行で広島にも来られ自宅にも2回ほど泊まられました。

アメリカ滞在中は苦勞も多かったが毎月貰う生活費を貯めてアメリカ人、インド人、ドイツ人と南部をドライブしたり親戚を訪ねたりグレイハウンドバスで往復1週間かけて西海岸に行ったりし滅多に経験できない貴重な体験をさせてもらい感謝しております。

滞在中アメリカ国内ではアポロ11号の月着陸、初めて太平洋線にジャンボ747が就航、国際的にはチェコスロバキアのプラハでソビエトの軍隊が戦車で市民の自由の叫びを押し潰し

たと云ういわゆるプラハの春という悲惨な事件があり、50カ国から集まった参加者の中にもチェコの方がおられ、全員で励ました事を記憶しています。

44年度は4人が日本から参加しましたが既に故人となられた方、アメリカ人神父さんと結婚し、DVの被害者となられ、その後の消息の分からない方もおられます。

最後になりましたが過日、竹内会長から電話で副会長就任の依頼を受け、浅学非才な私はその任に適していないことを重々自覚しながら軽々しく引き受けましたが、微力ながら会のために頑張りますので宜しくお願いします。

(社会福祉法人順源会理事長、広島県在住)

### 監事 三宅 浩

2004年 ミシガン州カラマズー

介護保険制度が導入される前後から、私たちの周りでは、「措置から契約へ」「運営から経営へ」「福祉サービスの質」といった言葉が多く聞かれるようになってきました。私個人は、わが国の福祉は北欧型をモデルとしてその方向へ進んでいくのかと置いていたところ、先のような流れからアメリカを向いているのではないかと考え、一度じっくりとアメリカを見てみたいとの思いにかられ、アメリカに向かうこととなりました。

小池氏と竹内氏には私のアメリカでの研修実現のために多大のご尽力をいただき、お陰様でCIPの研修に参加することができたと思っています。

私に用意された研修地はミシガン州Kalamazoo。その街にある障害者のリハビリテーションセンターを拠点に様々な機関を訪れ、多くの情報を得ることができました。そのセンターでは、わたし専用の部屋や、パソコンでいつでもインターネットができる環境を作ってい

ただき、とても快適に研修に取り組むことができました。

研修では、知的障害者や精神障害者の地域生活の実態や、彼らへのプログラムの内容、障害者に対して福祉サービスを提供するまでのプロセスから、施設運営にいたるまで、幅広く見聞できるようにプログラムを組んでいただきました。

また、ホームステイでは、三つの家庭で生活を送らせていただきました。共働きで家事を夫婦で完全にシェアしている家庭では、洗濯機の使い方を奥さんに訊くと、「私はわからないから夫に訊いてください！」と言われ、スローフードを好む家庭では、「私はマクドナルドへ一度も行ったことがないのよ！」といわれるほどの徹底ぶり。夕食をほとんどいつも外食する家庭。というように、多種多様なアメリカ家庭に目を丸くしたものです。

同じ時期にロシアとガーナから研修生が来て

おり、週末は彼らと一緒に過ごすことが多かったです。シカゴへ小旅行に出かけた時、ホテルでウオッカを飲みながら、“百万本のバラ”をロシア語と日本語で歌ったことは愉快的思い出として今でも思い出します。

単にアメリカの福祉を知るだけでなく、CIPプログラムは、アメリカの文化、生活様式、他の国の人たちとの交流など、これまでの海外研修では体験できなかった、非常に有意義で思い出深く、しかも得るところの多い研修であったと数年前を振り返っています。

このたび、そのCIP研修に参加された数多くのわたしの先輩方が、輪をくんで営んでおられるCIFジャパンの役員にご選任いただき光栄に思っています。微力ながら会の発展に努めさせて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**(障害者支援施設こいしらの里施設長、  
三重県在住)**

## 新役員氏名 (任期 2010年6月19日~2012年3月31日)

会 長	竹内 和利	元京都ノートルダム女子大学教授 (京都府)
副会長/事務局長	坂本 正路	元東京基督教大学教授 (神奈川県)
副会長	坂岡 隆司	社会福祉法人ミッションからしだね理事長 (京都府)
副会長	山崎 喜久雄	社会福祉法人順源会理事長 (広島県)
会 計	梶村 慎吾	医療法人社団温知会理事 (東京都)
広 報	浅野 純江	パール社会開発 NGO 日本支部代表 (千葉県)
広 報	小林 茂	兵庫県社会福祉協議会事務局次長 (兵庫県)
監 事	冷水 豊	元上智大学社会福祉学科教授 (東京都)
監 事	三宅 浩	障害者支援施設こいしらの里施設長 (三重県)

\* ( ) は在住都道府県

### 国際研修プログラムのチラシをご活用ください

米国CIPをはじめ、世界21か国で行われている「社会福祉・対人サービス従事者のための国際研修プログラム」の案内チラシを作成しましたので、ここに一部お送りいたします。ご自由にメールにコピーのうえ、お知り合いのかたがたにお配りいただき、CIP/CIF国際研修への参加をお勧めください。チラシのデータをご希望の方には添付してお送りいたしますので、下記アドレスあてお知らせください。

(sumieasano@jcom.home.ne.jp浅野純江)

